



茨城県立医療大学 夏休み親子科学教室

茨城県立医療大学では、夏休み親子科学教室の参加者を募集しています。
科学に親しみ、科学の楽しさを実験で体感できます。
保護者の方と一緒に参加してみませんか？



- 日 時：令和6年8月3日（土）10時から12時まで
○場 所：茨城県立医療大学 実習棟
○内 容：A教室、B教室、C教室のいずれかの選択参加になります。
※同じ児童の複数申し込みはできません。

【A教室】「食べ物の消化の仕組み～食べ物はどこにいくの？」

毎日食べているご飯はからだの中でどうなるのでしょうか？
消化酵素の働きにより、ご飯は小さな物質に分解されていますが、実際に見るのは困難です。そこで、食虫植物であるモウセンゴケの消化を観察することで、実際に消化の進行を見てみましょう。
また、だ液がでんぷんを消化する様子を化学的に調べてみましょう。このようにして、消化酵素の働きをマクロ～ミクロの視点で学びましょう。

＜講師：人間科学センター 准教授 相良 順一、特任助手 東條 奈穂美＞

【B教室】「親子で学ぶ放射線科学」

この公開講座では、3D プリンタを使用した親子でのものづくりを通して、画像から3次元の造形物ができるまでを体験していただきます。加えて、作製した造形物のX線撮影を行い、放射線の特徴を体験していただきます。作製した造形物はお持ち帰りいただけます。また、この公開講座では無償のソフトウェアを利用しますので、講座後も継続的に利用することが可能であり、参加者のものづくりの最初の一步をサポートするものです。

＜講師：放射線技術科学科 講師 布施 拓、助教 郡 倫一、宮川 真、安江 憲治、高橋 将斗、特任助手 矢澤 蓮、佐々木 幸大＞

【C教室】「空気の持つふしぎな力と肺のしくみの関係～息を吸ったり吐いたりは何でできるの？～」

私たちは普段、息を吸ったり吐いたりという呼吸運動を繰り返して生きています。この呼吸運動はいったいどのような体の仕組みによって行われているのでしょうか。身近にある材料で作る「呼吸運動モデル模型」の工作を通して、呼吸運動の仕組みについて学んでみましょう。

＜講師：医科学センター准教授 角 友起＞

○対象と定員：小学校4年生から6年生の親子 A教室 15組 30名 B教室 15組 30名
C教室 15組 30名

○参加費：無料（ただし、レクリエーション保険代参加者1名50円程度をご負担いただきます。）

○申込み方法：右のQRコードを読み込んでお申し込みください。

希望者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

○参加者への連絡：参加者には7月中旬頃に大学からお知らせします。

※大学からの連絡がない場合は、ご参加できませんのでご了承下さい。

○申込み締切り：令和6年7月15日（月）

【問い合わせ先】

県立医療大学・地域社会貢献センター

TEL：029-888-4000 Mail:shomu@ipu.ac.jp

